



9月9日は「救急の日」です。0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。キッチン、浴室、ベランダなどもう一度チェックし、事故やけがの無いよう安全な環境を整えましょう。

子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

子どもがけがをしそうで「ヒヤとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事でよかった」とすませるのではなく、なぜヒヤとしたのかを見直しましょう。

1 「ダメ！」「危ない！」は“そこが危険”のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



2 一度あれば二度、二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。



3 大人もいっしょにやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。



緊急時の電話相談

受診した方がよいのか、様子を見ても大丈夫なのか、急な子どもの症状で心配な時には、電話で相談ができます。

○ 小児救急電話

#8000 小児科医師・看護師から症状に応じた適切な対処の仕方や、受診する病院等のアドバイスが受けられます。24時間対応。

○ さいたま市子ども急患電話相談

048-825-5252

子どもの急な病気やけがに関して、症状に応じた対処方法や応急処置方法のアドバイス、さいたま市内の救急医療機関の案内を受けられます。

相談日時：平日17時～翌日9時

土日祝日、年末年始：9時～翌日9時

おねがい・おしらせ

◇元気な1日は朝ごはんから

まだまだ暑い日が続いています。運動会に向けての練習も始まりますので、熱中症予防のためにも朝は食事・水分をしっかりとってから登園してください。朝食がとれていない、夜眠れないなど、いつもと違う様子があれば、担任にお知らせいただけますようお願いいたします。

◇8月の感染症

手足口病・・・3名

◇9月の保健行事

3日～身体測定(クラスごとに順次行います)
16日 0歳児健診

